

1-1 建物概要			1-2 外観													
建物名称	(仮称)天王寺区烏ヶ辻共同住宅 新築工事															
建設地	天王寺区烏ヶ辻1丁目															
建築用途	共同住宅															
建築主																
設計者																
敷地面積	588.19	㎡														
建築面積	217.55	㎡														
延床面積	2,746.91	㎡														
構造/階数	RC造	/ 地上15階														
完了年(予定)	2025年1月															
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)			2-3 大項目の評価(レーダーチャート)										
B- BEE=0.6 S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C:★			★★★★★ 30%:★★★★☆ 60%:★★★★☆ 80%:★★★★ 100%:★★★ 100%超:★ 標準計算 <table><tr><td>①参照値</td><td>100%</td></tr><tr><td>②建築物の取組み</td><td>80%</td></tr><tr><td>③上記+②以外の</td><td>80%</td></tr><tr><td>④上記+</td><td>80%</td></tr></table> このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです			①参照値	100%	②建築物の取組み	80%	③上記+②以外の	80%	④上記+	80%			
①参照値	100%															
②建築物の取組み	80%															
③上記+②以外の	80%															
④上記+	80%															
2-4 中項目の評価(バーチャート)			ラベル表示			有										
Q 環境品質						Q のスコア= 2.2										
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)												
Q1のスコア= 2.5		Q2のスコア= 2.7		Q3のスコア= 1.3												
LR 環境負荷低減性						LR のスコア= 3.0										
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境												
LR1のスコア= 3.4		LR2のスコア= 2.7		LR3のスコア=2.9												
3 設計上の配慮事項																
総合				その他												
室内の音環境を良くし、天井高さを高く取り、断熱性能を少し上げることにより住みやすい部屋とし、また自転車置場台数を増やすことにより便利な住環境を作るようにしている。				特になし。												
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)												
床スラブ厚180mm、居室フローリングをL r-45とし、また戸境壁を150mm厚コンクリートまたはD r-47の軽量間仕切、サッシをT-2とし、音環境の向上に配慮している。		住戸居室の天井高さを高くし、開放性に配慮している。また、共用部配管は躯体を傷めずにメンテナンスができるようにしている。		エントランスホール前に植栽を広く設け緑化に努めている。また、見通しの良い外構とし、防犯にも配慮している。												
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境												
住戸壁断熱材、2階スラブ下断熱材、屋上断熱材を使用し、住戸断熱性能の向上に配慮している。		有害物質の少ない建材を用い、またオゾン層に影響の少ない吹付断熱材を用いるようにしている。		自転車置場の必要台数を満たすことによって、周辺へ自転車放置されることを防ぐようにしている。												

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.6

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.8
配慮事項	運用時のCO2削減に配慮した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	アプローチの緑化に配慮した。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.0
配慮事項	断熱性能の向上に配慮した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.4
配慮事項	建物全体の一次エネルギー削減に配慮した。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級3 （相当） 非住宅部分[BPI][BPI_m] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 0.88 住宅部分[BEI] 0.88 非住宅部分[BEI][BEI_m] -